

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パレット			
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の満足度が3項目全て100%だった。	・安心して子供を預けられる事業所という言葉をいただき、日頃から安心・安全の実施を心掛けていることが実を結んでいると感じた。安全運転や怪我につながらない室内環境の工夫や保護者とのコミュニケーションを大切にしていることが評価された。	・親子ともに安心してくつろいで過ごせる場所づくりを心掛け、細かな報告・連絡・相談や支援に対する誠実な姿勢をスタッフ一同に留めていく。
2	・個別支援計画の作成にあたり個々の支援ニーズを把握し、職員共通理解のもとでチームで実施できている。 ・利用者の自己選択や自己決定を尊重する取り組みをしている。	・支援プログラムが固定化しないようにミーティングで話し合いながら共通理解のもとで計画、実行している。 ・送迎前のミーティングと送迎後の終礼を欠かさず行い、情報共有に努めている。 ・スタッフへ向けて利用者の自己選択や自己決定を尊重する大切さを啓発したり、じっくり待つ支援を行っている。	・好きな活動に偏りがあり活動が固定化しがちな利用者もいるので、スタッフ同士知恵を出しながら工夫する。 ・送迎時やお迎え時に話し、家族とのコミュニケーションを図りながら信頼関係を更に固くしていく。
3	・学校との情報共有に努め、連絡調整を適切に行っている。 ・自立支援協議会等に積極的に参加している。	・サポートネット会議や自立支援協議会への出席を通じて関係機関や併用事業所と情報交換し、支援に役立っている。得た情報をスタッフミーティングや文書を通じて共有し、共通理解に努めている。	・情報の受取間違いや非常勤職員への情報の伝え漏れが発生する可能性があるため、連絡ノートやミーティングでの声掛けを活用し、共通理解が図れるよう努力する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会がないため家族ぐるみで交流する機会がない。	・総会への出席を認めているが、仕事をしている家族も多く交流の機会が持てない状況である。	・活動の様子をスライドにして説明会を行うなど、家族同士が顔を合わせる機会を意識的に設ける必要がある。
2	・事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を行うことが難しい。	・騒がしい状況が苦手な特性を持っていたり、小規模事業所のため地域の方を呼ぶことのできる大きなイベントを実施することが困難だったりする状況から、地域との交流の機会を持つことが難しい。	・地域の行事で参加できるものがあれば参加を続けながら、地域の方との交流の機会を作る。
3	・家族に対してペアレントトレーニングや家族等の参加できる研修の機会や情報提供ができていない。	・ペアレントトレーニングを実施できる人材がない。 ・家族向け研修会や相談会の案内を事業所内に掲示しているが、配布まではしていない。	・富里市の協力を得て、アスペルデの会が認定するペアレントプログラムの指導者資格を今年度スタッフが取得したので、将来、家族へ向けてペアレントプログラムを実施できるようブラッシュアップする。 ・八街市や富里市から自立支援協議会を通じて家族向け相談会の案内を受け取ったら印刷し、連絡帳袋に入れて情報提供して行く。